

『DX 手戻りゼロへ、頼れる図面チェック・アシスタント技術開発』共同研究の実施

このたび、設備設計 CAD システムなど幅広い分野のシステム開発を行っている株式会社システムズナカシマと共同で、DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用したこれまでにない新しいサービス・技術の研究を開始しました。

1 研究内容（案）

(1) 研究の目的：① 電子申請に係るバックヤードの負担軽減（申請者側＋行政側）

② 神戸市で働く設備業者への DX 推進

(2) 背景と課題：本市では令和4年度より排水設備工事に関する申請手続きを電子化して業務の効率化を進めてきました。しかしながら、その一方で、申請件数の3～4割で図面不備による「差戻し」が生じており、申請者側の図面修正による手戻り、行政側の修正指示といった電子申請に係るバックヤードの負担が課題となっております。

(3) 研究の概要：本研究では、株式会社システムズナカシマの持つ給排水申請 CAD システム「水匠 NX」の機能を拡張し、本市の図面審査の知見を基に、図面診断・作図支援の技術開発と検証を行います。この機能が実用化されることで、DXによる業務プロセスの革新につなげたいと考えています。

2 共同研究者の概要

株式会社システムズナカシマ（本社：岡山市北区中島田町2丁目3-19 NXビル）は、一般社団法人全国設備業 DX 推進会の事務局として、全国の設備業の DX 導入を後押しするなど、豊富な実績を持つ企業です。

3 役割分担

株式会社システムズナカシマ：システム内の機能開発・検証

神戸市建設局下水道部管路課：図面審査に関する知見の提供・実証確認

4 研究期間

令和8年9月30日まで

5 共同研究先

株式会社システムズナカシマ

URL：<https://www.systems.nakashima.co.jp/contents/news/2025111401.html>